

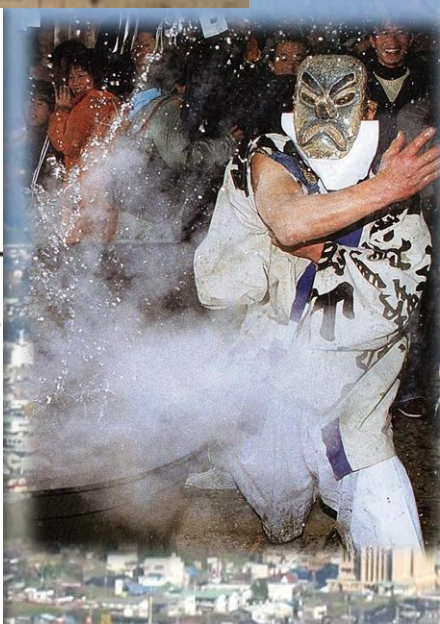
中部ブロック地球温暖化対策事例紹介セミナー

# 飯田市における 公民協働の太陽光発電事業

2011年10月19日  
飯田市地球温暖化対策課  
地域エネルギー担当

# 1. 飯田市の概要

長野県南部、中央アルプスと南アルプスに挟まれ、中央を天竜川が貫流する伊那谷に位置する。小京都と言われる城下町であった市街地を中心に、山の暮らし、里の暮らし、街の暮らしが営まれ、古来より伝わる伝統文化が息づいている。



- 人口 105,364人(平成22国調速報値)
- 世帯数 37,817世帯(平成22国調速報値)
- 面積 658.76K㎡／林野率:84.3%
- 高齢化率 27.8%(平成21年4月1日)
- 商業販売額 約2,559億円
- 製造品出荷額 約3,139億円
- 農業産出額 約115億円
- 就業構造 第1次産業…10.9%  
第2次産業…36.5%  
第3次産業…52.5%
- 気象 平均気温13.1℃／年間降水量1,767mm  
日照時間2,094時間

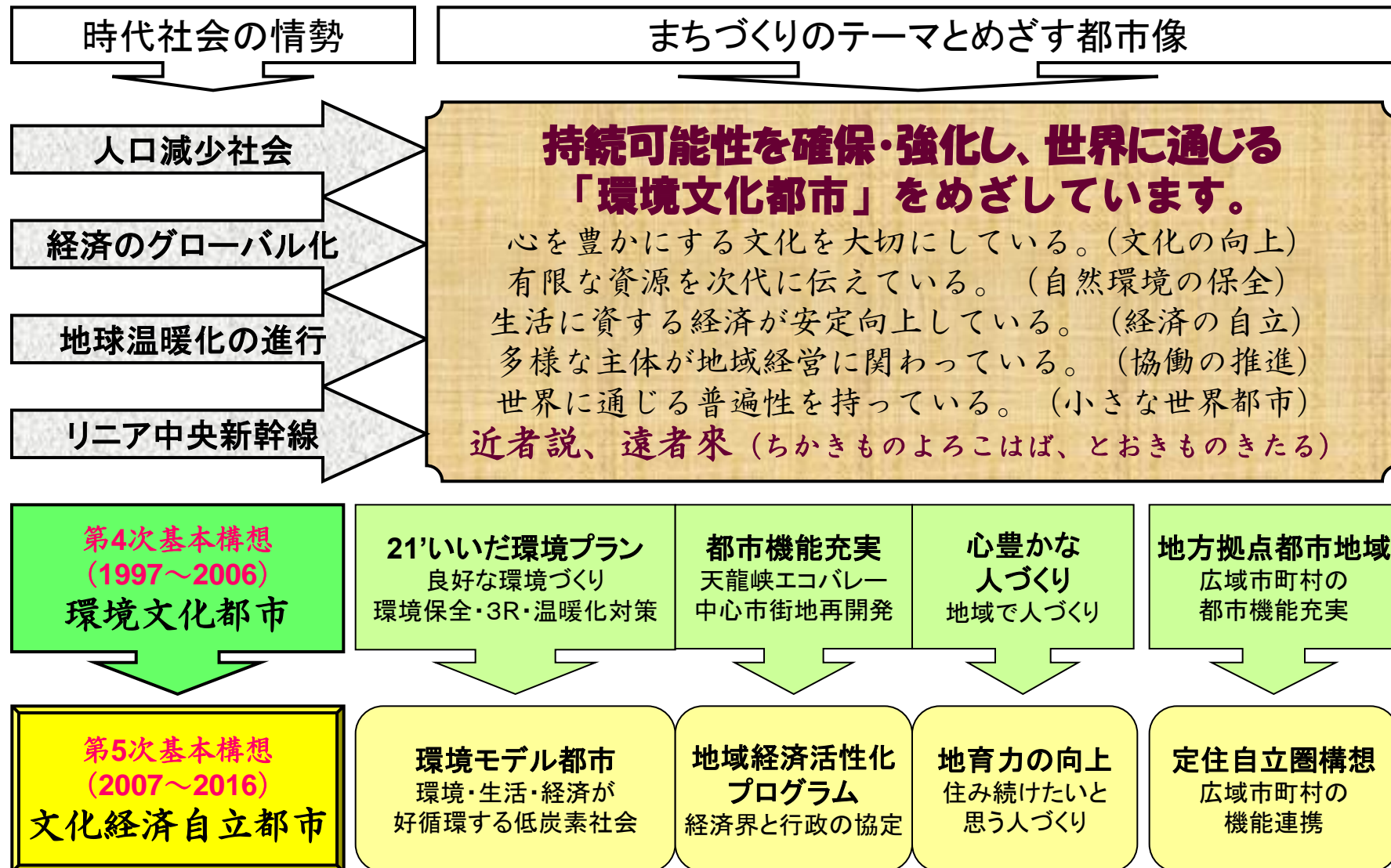
## 2. 飯田市がめざす都市像

### (1) 地方都市を取り巻く状況と課題



## 2. 飯田市がめざす都市像

### (2) 文化経済自立都市と環境文化都市宣言



### 3. 飯田市環境モデル都市行動計画概要

2050年 地域全体から排出される温室効果ガスを2005年対比70%削減

#### 温室効果ガス排出削減目標

2030年 排出の著しい家庭部門からの温室効果ガスを2005年対比40%～50%削減

「おひさま」と「もり」のエネルギーの総合利用への展開

自然エネルギーの域産域消

- 太陽エネルギー（太陽光・太陽熱）の利用推進
- 中心市街地におけるタウンエコエネルギーシステムの展開
- 建築物の省エネ化
- 環境視点からの木材利用と森林管理の推進

移動手段の取低炭素化

乗換や公共交通利用の拡大

- 環境にやさしい移動手段（電気自動車や自転車等）の利用促進

産業界との連携

地域ぐるみの低炭素な産業活動

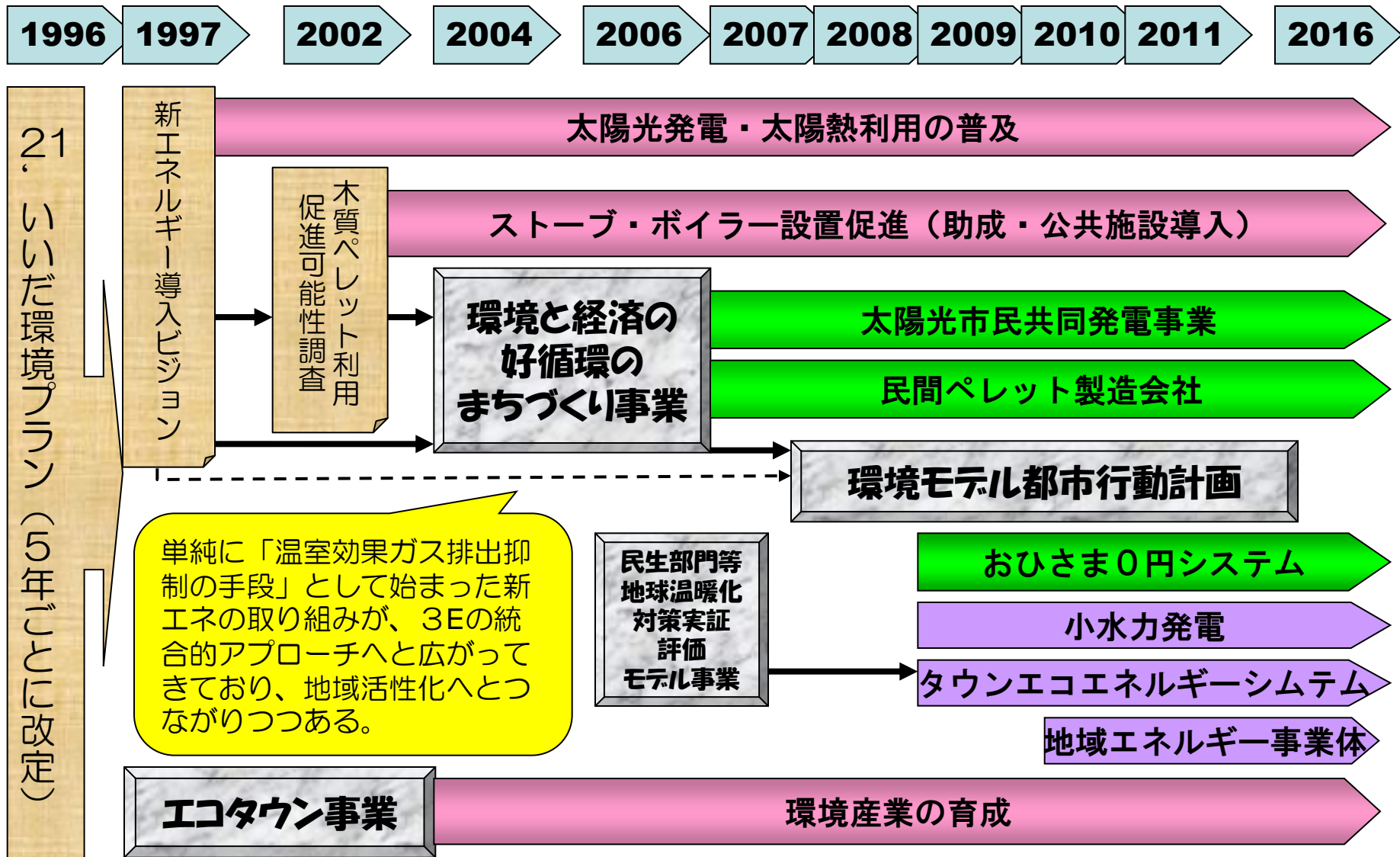
- 地域ぐるみ環境ISO研究会を核とした低炭素企業活動の促進と企業の共同による環境技術の開発

低炭素社会に向けた地域全体の意識改革

住民の参画と人材確保

- 低炭素社会基本条例（仮称）の制定と努力義務化
- 地球温暖化防止コーディネーターの育成・活用
- カーボンオフセットを通じた地域間交流
- あらゆる機会を捉えた環境教育

# 4. 飯田市の新エネルギーに関する取り組み経過



## 5. 飯田市の太陽エネルギーの取り組み

### 太陽光・太陽熱の利用促進 行政の取組

- 1997年からの取り組み
- 住宅用太陽光発電の導入  
市補助制度（1997年～）  
→約1,400件・約4,800kw  
世帯数の約3.6%  
当面世帯数の10%を目標に
- 公共施設への太陽光発電導入  
84カ所
- 住宅用太陽熱温水器設置補助  
制度（1997年～）



※ここで製造される製品を  
飯田市環境商品として認定

### 太陽光市民共同発電の展開 民間事業モデル

- 太陽光市民共同発電事業  
(2005年～)  
地域のエネルギー会社（おひさま進歩エネルギー株）が市民ファンド（匿名組合出資）を原資として、公共施設等の屋根を利用して、太陽光発電による電気供給を行う事業を展開。  
現在162カ所1,281kw
- おひさま0円システム  
(2009年～)  
住宅向けに初期投資不要の太陽光発電設備設置事業を展開・48件



おひさま発電所第1号がある保育園

### メガソーラーいいたの建設 官民共同事業

- 飯田市と中部電力との共同事業
- 中部電力管内初のメガソーラー発電所
- 発電所の規模  
敷地面積：約1.8万㎡  
PVパネル：4,704枚（三菱電機製）  
最大発電量：1メガw  
年間想定発電量：約100万kWh
  - ・一般家庭300世帯分相当
  - ・高圧（6.6kV）配電線へ連系し地元  
の家庭へ供給
- 年間CO<sub>2</sub>削減効果：約400t
- 2011年1月28日運用開始
- 市：市有地の無償利用と運用補助・PR
- 中部電力：設置管理運営



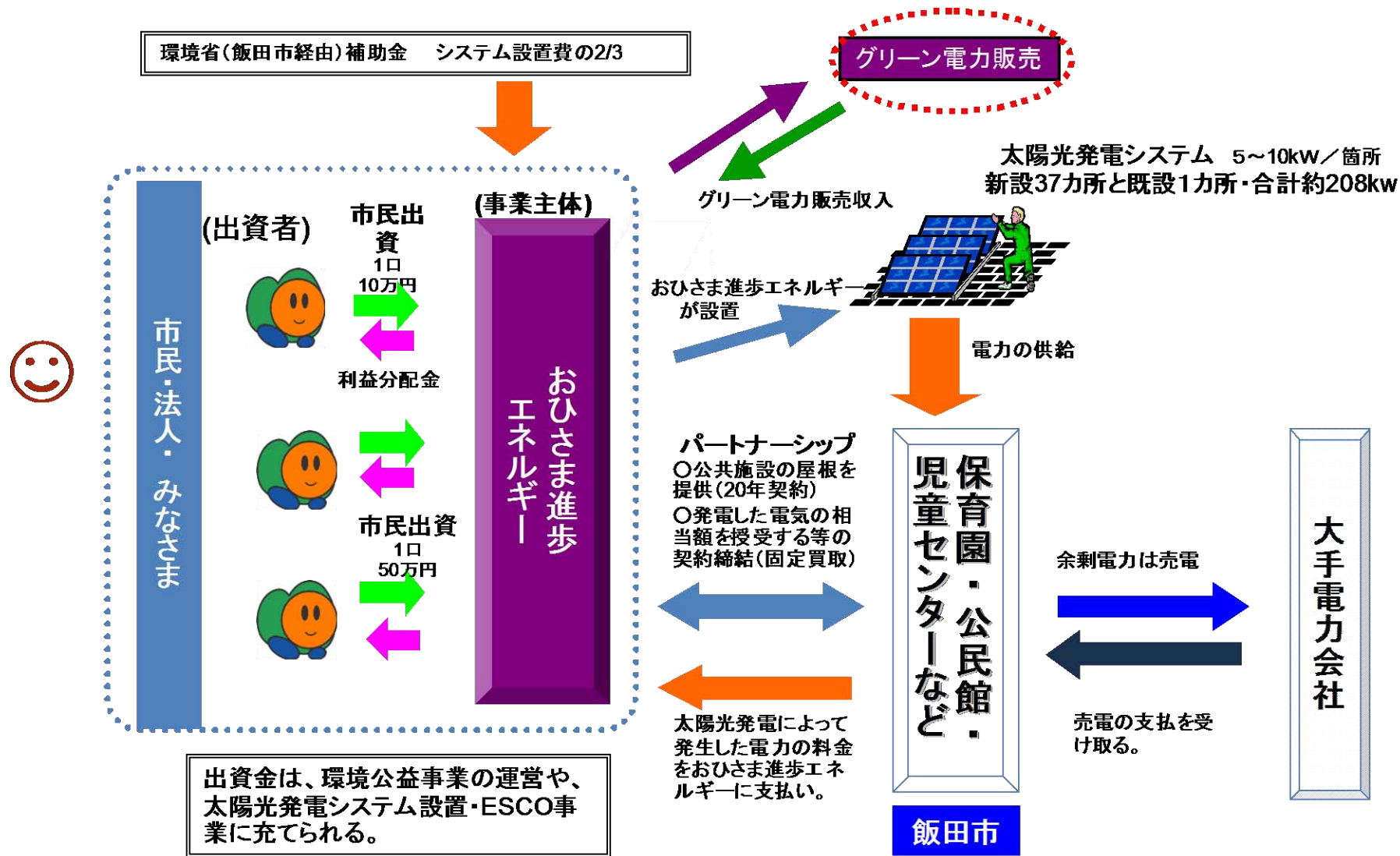
完成直後のメガソーラーいいたの全景

# 6. 飯田市の太陽光発電普及の経過・現況

住宅用助成制度の変遷と累計設置件数			公共施設等の設置状況			
年度	市単独補助制度	民間事業	累計件数	直轄設置	民間設置	合計
1997	1. 融資斡旋・利子補給(上限無し) 2. 市内事業者からの設置購入 3. 国の補助金との併用可 4. 中部電力との系統連系 5. 申請全部受理		59	4	2004~ 市民共同 発電事業	4
2003	1. 1kwあたり30,000円(上限10万円) 2. 市内事業者からの設置購入 3. 中部電力との系統連系 4. 申請全部受理		632	10		10
2004	1. 1kwあたり30,000円(上限10万円) 2. 市内事業者からの設置購入 3. 中部電力との系統連系 4. 申請全部受理		732	10	28	38
2007	1. 1kwあたり70,000円(上限20万円) 2. 中部電力との系統連系 3. 国の補助金との併用可 4. 申請全部受理	2009~ おひさま 0円システム	847	30	45	75
2008	1. 1kwあたり70,000円(上限20万円) 2. 中部電力との系統連系 3. 国の補助金との併用可 4. 申請全部受理		876			
2009	1. 1kwあたり実勢価格参考(上限設定) 2. 中部電力との系統連系 3. 国の補助金との併用可 4. 年間件数上限設定(500件)					
2010	1. 1kwあたり実勢価格参考(上限設定) 2. 中部電力との系統連系 3. 国の補助金との併用可 4. 年間件数上限設定(500件)					
<b>世帯普及率</b> 2010年度末3.61% 目標10%		想定 最大出力	4,800kw	270kw	340kw	610kw
			5,410kw			
2011	1. 1kwあたり実勢価格参考(上限設定) 2. 中部電力との系統連系 3. 国の補助金との併用可 4. 年間件数上限設定(500件)	<b>メガソーラー いいだ</b>				
		2011年1月28日営業運転開始 1,000kw/約300世帯分				

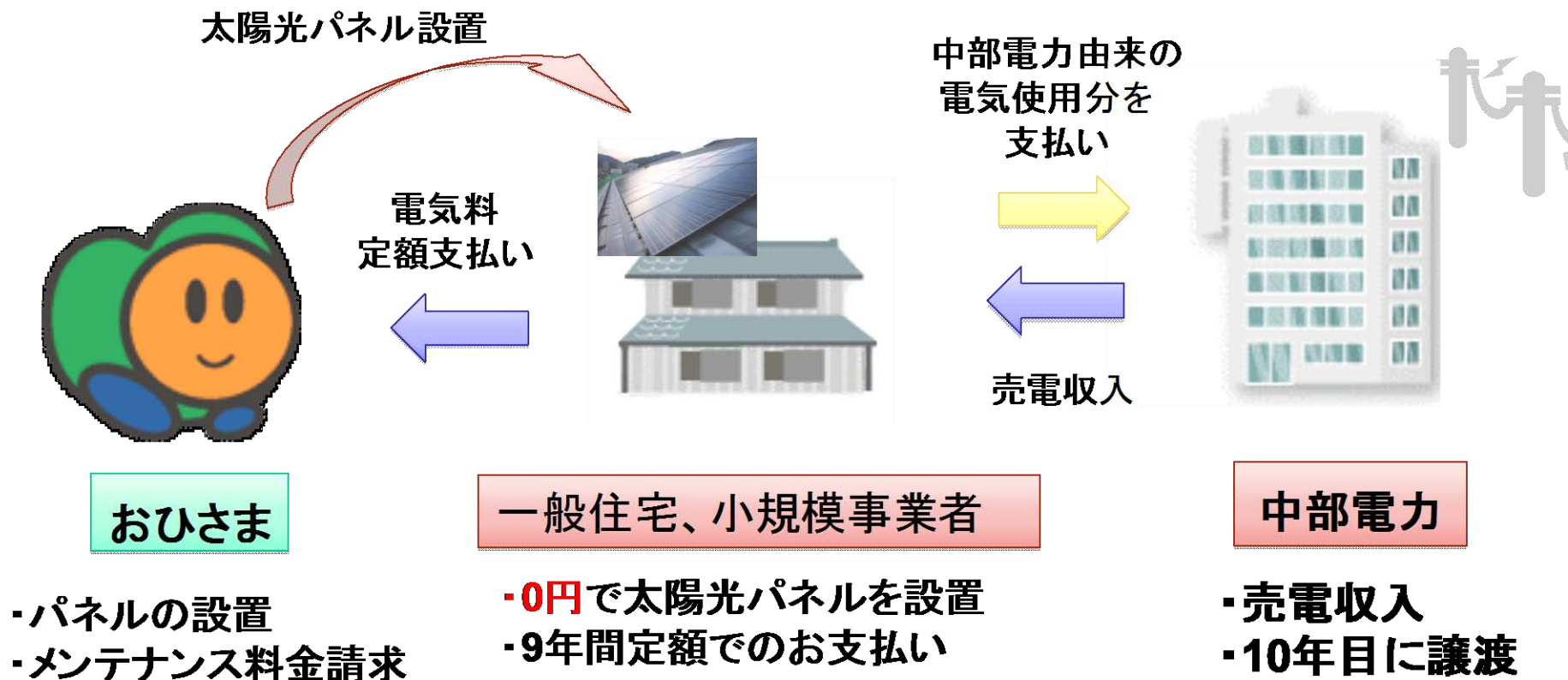


# 7. 太陽光市民共同発電の仕組み

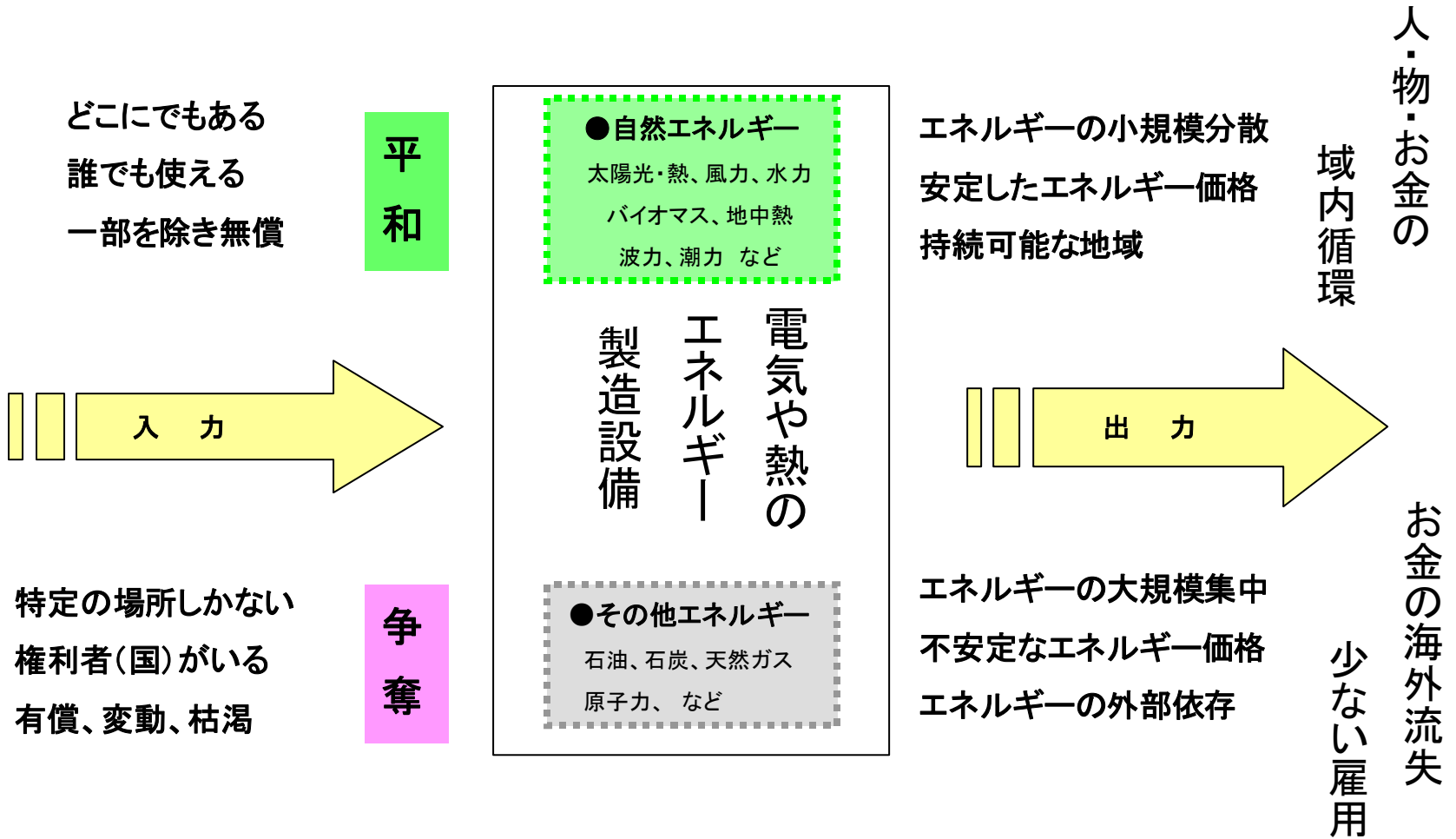


## 8. おひさま0円システムの仕組み

- ・一般のご家庭に**0円**で太陽光パネルを設置。9年間月々定額の料金をいただきます。
- ・省エネを努力して売電すれば、月々の負担を減らせます！
- ・10年目以降は譲渡となり、発電分全て収入になります。



# 9. 地域に貢献する自然エネルギー



## 10. 終わりに

### 地域主権による3Eの統合的取組を

エネルギー (Energy) の低炭素化と安定需給 (エネルギーの域産域消)

産業経済活動 (Economy) の低炭素化と安定成長化 (グリーンイノベーション)

自然の営み (Ecology) と共生する持続可能な暮らし (低炭素社会づくり)

- ・人々が、自分たちの価値を軸にして考え、自立しようという気構えを持ち、主体的に暮らしの場を経営していくこと。
- ・人々が、変えてはならないものと変えるべきもののバランスを見つめ、心を豊かにする文化、生活に資する経済を向上させていくこと。
- ・人々が、自分の暮らしている土地の自然、景観、歴史を大切にして、大きな負債を残さず、有限な資源を次代につなげていくこと。